

## 21 世紀水倶楽部見学会企画

シリーズ：優れた下水道技術を学ぶ見学会

第 1 回：旧三河島汚水ポンプ場施設

日時：平成 28 年 11 月 2 日（水）14：00～17：00

プログラム：

14：00 現地集合

14：00～14：30 旧三河島ポンプ場施設の説明

14：30～15：30 ポンプ場施設見学

15：30～16：30 講話「旧三河島汚水処分場・当時の下水道技術」

TGS 研修センター 石井茂雄 氏

16：30～17：00 質疑応答

17：00 終了

見学概要：

旧三河島汚水処分場は 1922 年（大正 11 年）日本で初めて稼働した下水処理場であり、当時の米元晋一技師を始めとする東京市の技術陣の粋を集めて建設された。そのポンプ場施設は近年まで稼働していたが 1999 年にその役目を他の施設に譲り運転休止となった。しかし現存する、流入渠、沈砂池、ポンプ施設およびその建物は当時の下水道技術の模範とされるものであり、その歴史的価値が相当に高いということから、2007 年（平成 19 年）下水道分野では初めて国の重要文化財（建造物）として指定された。流入渠の敷石張りや沈砂掻き揚げ機、ポンプ容量の構成、ベンチュリ流量メーターなど随所に先人技術者の努力と工夫が見られ、現代の下水道技術者にとっても近代下水道技術の原点を学ぶ格好の施設であると考えられる。この度は、TGS 研修センターの石井茂雄さまの講話も合わせて見学会を企画しました。奮ってご参加ください。

参加申し込み：

ホームページの見学会企画の申込欄から申し込んでください。賛助会員の方はお名前の後に会社名もお書きください。

申込期限は 10 月 7 日（金）といたします。集合場所等細かい点につきましては、改めまして参加者にメール連絡をいたします。

なお、本見学会の参加は会員に限定されております。